

箱で抵抗力をつけて、 本田ですっと 悠々航海



ルーチン®アドスピノ™ 箱粒剤

育苗期のいつでも使えて
本田で長く効く、いもち病・
初期害虫・ウンカ・チョウ目防除剤

イネ自身に抵抗力をつける
植物病害抵抗性誘導剤「ルーチン」と
幅広い害虫に強い「アドマイヤー」と「スピノ」がひとつに



いもち病

白葉枯病

イネミズゾウムシ

イネドロオイムシ

ウンカ類
(セジロウンカ)

ツマグロヨコバイ

イネアザミウマ

穂枯れ(ごま葉枯病菌)

フタオビコヤガ

ニカメイチュウ

コブノメイガ

イネツトムシ

イネヒメハモグリバエ



育苗期のいつでも使えて本田で長く効く、
いもち病・初期害虫・ウンカ・チョウ目防除剤

ルーチン® アドスピノ™ 箱粒剤

農林水産省登録 第22705号

●成分：イミダクロプリド ……2.0%
スピノサド ……1.0%
イソシアニル ……2.0%

●性状：類白色細粒
●毒性：普通物（「毒物および劇物取締法」にもとづく毒物・劇物に該当しないものを指している通称）

1 育苗箱処理で水稻の主要病害虫に高い防除効果を示します。
水稻主要病害虫のいもち病、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、ツマグロヨコバイ、ウンカ類、フタオビコヤガ、コブノメイガ、ニカメイチュウ、イネツトムシなどに対して高い防除効果を発揮します。また、細菌性病害の白葉枯病に対しても効果があります。

2 は種前から移植当日まで幅広い処理時期があります。
新規殺菌剤ルーチンと新技術「CR(コントロール・リリース)」を適用したアドマイヤー、チョウ目に高い効果があるスピノが幅広い処理時期が可能にしています。

3 植物病害抵抗性誘導型殺菌剤であるため耐性菌発達のリスクが小さい薬剤です。
ルーチンは、既存のイネいもち病薬剤耐性菌に対しても有効です。

4 浸透移行性に優れ、長い残効性があります。
ルーチン、アドマイヤー、スピノは優れた浸透移行性と長い残効性を有しています。またスピノサドは天然物由来の殺虫成分で、化学合成農薬でないため、特別栽培農作物への使用回数(使用成分数)にカウントされません。
(※地方自治体により特別栽培にカウントされる場合もありますので、関係機関にご確認下さい。)

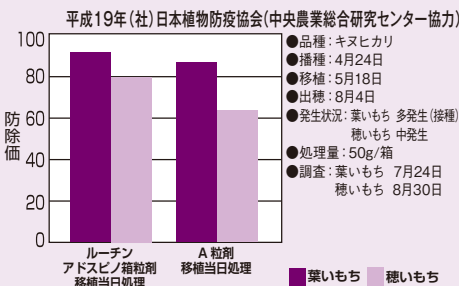
適用病害虫および使用方法 (2018年11月現在)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	総使用回数*	使用方法
稲 (箱育苗)	イネアザミウマ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	移植2日前～移植当日	本剤:1回 イミダクロプリド:3回以内 (移植時までの処理は1回以内、 本田での散布は2回以内) スピノサド:1回 イソシアニル:3回以内 (移植時までの処理は1回以内、 本田では2回以内)	育苗箱の 上から 均一に 散布する。
	穂枯れ(ごま葉枯病菌) 内穎褐変病		移植当日		
	苗腐敗症(もみ枯細菌病菌) 苗立枯細菌病		は種時(覆土前)		育苗箱の 床土又は 覆土に均一に 混和する。
	白葉枯病 もみ枯細菌病		は種時(覆土前) ～移植当日		
	イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、 ウンカ類、ツマグロヨコバイ、 イネヒメハモグリバエ、 イネツトムシ、フタオビコヤガ、 コブノメイガ、ニカメイチュウ、 いもち病		は種前		

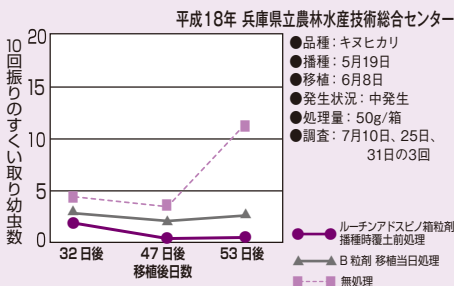
* 印は収獲物への残留回避のため、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

試験成績

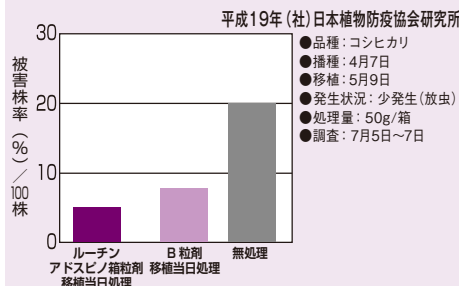
●いもち病に対する効果



●フタオビコヤガに対する効果



●ニカメイチュウに対する効果



注意事項

- 本剤を床土または覆土に混和処理する場合、処理後速やかに使用して下さい。また本剤を処理した床土または覆土を放置しないで下さい。
- 梅雨明け後の高温時の晩期栽培では、は種前およびは種時の処理により薬害が生じる恐れがあるので、これらの時期での使用を避けて下さい。
- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じる恐れがあるので注意して下さい。
- 本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じやすいので、代かきはいないに行い、移植後田面が露出しないように注意して下さい。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないで下さい。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいぐさを栽培しないで下さい。
- さく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布して下さい。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 誤食などのないように注意して下さい。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意して下さい。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意して下さい。
- 散布器具および容器の洗浄水は河川等に流さないで下さい。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理して下さい。
- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

バイエル クロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 <https://cropscience.bayer.jp>

お客様相談室 ☎0120-575-078 9:00～12:00、13:00～17:00
土・日・祝日を除く

(F-2099 18.11.JWT)